

令和7年度事業報告

公益財団法人仙台ひと・まち交流財団

1 地域コミュニティの振興・支援等を行い、住みよい地域社会の実現に寄与する事業

【公1】費用：5,788,203千円

(1) 生涯学習によるコミュニティの振興及び関連活動の支援事業

(定款第4条第1項第3号及び第5号の事業)

市民センターを核とした生涯学習事業等の実施や移動図書館車による図書サービスの提供などを通して、地域での交流を促進し、主体的な活動を行う団体や人々を支援することで地域づくりを行った。

① ライフステージに合わせた生涯学習事業

育児期や青年期、高齢期などのライフステージや、社会の変化に伴って生じる高齢化、安全・安心など、様々な課題に応じた学習機会を提供し、必要な知識や対応力等を身につけることができる事業を実施した。

(事業例)

- 地域資源を活用し、地域ぐるみで健やかな育ちを支える講座
根白石市民センター「元気キッズ～かむりっこひろば～」
- 地域の子育て支援団体と連携し、子育て情報と交流する機会を提供する講座
富沢市民センター「つながる地域の子育て応援隊『ホッとinとみざわ』」
- シニア世代を対象とした介護予防と健康維持についての知識を学ぶ講座
榴ヶ岡市民センター「東口ますます元気教室」
- スポーツを通して地域の高齢者に集う機会を提供し、学習した運動を日常に取り入れることでウェルビーイングの向上を目指す講座
落合市民センター「めざせ健康！元気あっぷチャレンジ」

② 市民参画推進事業

市民が自ら学ぶことにより地域で主体的に活動し、学習成果を発揮できるよう「学び」「交流」「行動」のあり方について参加者の意見が反映されるように工夫しながら、市民参画を推進する事業を実施した。

(事業例)

- 中年期の現代的課題をテーマにする市民企画会議を経て実施した講座
貝ヶ森市民センター「市民企画講座 無理なく楽しむ暮らしデザイン講座」
- 地域の小学生が企画員となり、自分のまちが楽しく活気あふれるよう、こどもの参画により事業を企画する講座
宮城野区中央市民センター「こども参画型社会創造支援事業『キッズもりあげ隊』」
- 市民センター前の広場を活用し市民企画員が企画した講座
茂庭台市民センター「『天空の広場』盛り上げ隊」
- 小学生を子に持つ親世代が企画員となり、地域の親子の交流のために企画した講座
柳生市民センター「市民企画講座 おやじのイベント」

③ 地域に関心を向ける事業

地域を見直し、関心や愛着を持つきっかけを作るために、歴史、自然、行事などの地域の資源や素材を生かした事業を実施した。また、地域団体や学校等との連携を通して、地域住民同士の顔の見える関係づくりにつなげ、地域の状況や地域活動へ関心を向けるきっかけづくりとなる事業を実施した。

(事業例)

- 地域にまつわる謎解き問題にチャレンジしながら、実際にまちあるきをすることで地域の魅力を発見する講座
柏木市民センター「八幡まちあるき～親子で謎解きチャレンジ」
- 地域に住む外国人との交流や相互理解を目的として、互いの価値観や文化、多様性について学ぶ講座
北山市民センター「Kitayamaで世界を知ろう！」
- 多様な住民が居住し、転出や転入が多い地域特性に着目し、年齢や障がいの有無に関わらず、共に集まり協力しあう地域づくりを目指す講座
木町通市民センター「きまち仙臺物がたり」
- 地域資源をまとめたリーフレットを活用し、小学生が地域について学ぶことで地域への愛着を育む講座
田子市民センター「仙台市立田子小学校連携事業『田子のお宝を発見しよう』」
- 地名と同じ名前を持つ加茂水族館にちなみ、クラゲの学習や工作を通してSDGsを学ぶ。デジタル技術を活用したオンライン授業による専門的な学習を採り入れるとともに、学生の参加により地域交流の場とする講座
加茂市民センター「みんなでつくろう！加茂(の)水族館」

④ 地域で活動する人材の育成事業

自らの学習成果を生かして、ボランティアとして地域で活動できる人材を育てる事業を実施するとともに、これらの活動が継続できるよう支援した。

(事業例)

- 折り紙ボランティア講座
片平市民センター「折り紙ボランティア スキルアップ講座」
- 地域ボランティア養成講座
将監市民センター「居場所サポーターズ連携講座」
- 図書ボランティア養成講座
松森市民センター「図書ボランティア養成講座」

⑤ 世代を超えた地域の交流事業

世代を超えて、気軽に参加できるイベントや体験活動を通して、地域住民同士の交流や地域活動の推進につなげる事業を実施した。

また、地域住民同士の交流を通して、次世代を担うこどもたちを地域ぐるみで見守り育てる体制づくりや、地域防犯・防災体制の強化につながるよう取り組んだ。

(事業例)

- 市民センターまつり
- 地域住民が一堂に会して地域防災について学びを深める事業
八木山市民センター「地域防災シンポジウム in 八木山」
- コンサート
東中田市民センター「みんなのコンサート」

[コミュニティ振興のための生涯学習事業の実績 (①～⑤の合計)]

	講座等		
	7年度	6年度	前年度比
事業数	712	706	100.8%
回数	3,137	3,105	101.1%
延べ参加者数	193,614	190,306	101.7%

※講座等…予め日時、回数等を決め、参加者を広く募集して行う主催・共催の講座

⑥ 大会・研究集会の開催

■ 令和7年度 市民センターフォーラム ～世界とつながるまちの居場所～

市民センターでは心身の健康に関連する講座の開催やサークル活動を側面から支えるなど様々な取り組みを行っている。今回は「多様な文化や価値観を理解する」をテーマとして、関連する事業を実施した。仙台で子育てをしている4人の外国人の方々に市民センター職員を交えたパネルトークや海外の遊びや日本の遊びの体験コーナー、市民センターを活動拠点としている団体によるミニコンサートを実施し、より多くの市民の方々が生涯学習に触れながら、外国の文化を知る機会となるよう開催した。

- ・実施日：令和7年12月6日(土)
- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・来場者数：130名
- ・パネルトーク「外国と日本の子育て」
パネラー：ネパール、スリランカ、ラオス出身の外国人および市民センター職員

⑦ 地域活動拠点施設等の運営及び地域活動団体支援事業

町内会、ボランティア団体、文化・スポーツ団体など地域にある多種多様な団体が安全・安心・快適に活動できるよう、市民センターの維持管理・運営を適切に行い、ホールや会議室等を利用に供した。

[市民センターの利用件数・利用率]

	利用件数			利用率			
	7年度 (件)	6年度 (件)	前年度比	7年度 (%)	6年度 (%)	増減	
青葉区	40,711	43,081	94.5%	77.7	74.9	2.8	
宮城野区	27,262	29,520	92.4%	67.8	72.8	△5.0	
若林区	17,166	16,196	106.0%	71.0	76.5	△5.5	
太白区	31,122	30,715	101.3%	65.6	65.5	0.1	
泉区	29,790	30,942	96.3%	66.3	68.6	△2.3	
各区計	合計	146,051	150,454	97.1%	70.1	71.1	△1.0
	1館 1月平均	220.3	225.9				

※備考 ・利用件数 部屋毎、日毎に算出
 ・1館1月平均利用件数 年間利用件数 ÷ (館数×12ヶ月－休館月数)
 ・利用率 総利用日数 ÷ 総開館日数
 (総利用日数 = 各室利用日数の合計)
 (総開館日数 = 各室利用可能日数の合計)

⑧ 地域情報等の収集・提供及び相談事業

地域にある様々な資源（歴史、文化、自然、行事、施設等）や地域で活動する人材・団体情報、生涯学習関連の情報などを収集し、地域住民等へホームページ及び広報紙などで提供した。

また、それらの情報をもとに市民の主体的な学習や活動の相談に応じた。

⑨ 移動図書館車による図書サービスの提供事業

■ ライフステージに合わせた図書の紹介及び読書活動の推進

図書館を利用しにくい地域を中心に、市内 77 か所の巡回先を 2 週間に 1 回の周期で巡回し、図書サービスを提供した。図書を積載するに当たっては、全世代の利用を想定してより多くの分野の選書を心掛けながらも、利用が多い子育て世代やシニア世代のニーズに即した図書の充実を図った。

また、季節や行事等に合わせた特設コーナーを設け、利用者の読書の幅が広がるきっかけづくりとなる取り組みも行った。

[移動図書館事業実績の推移]

項目	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比
利用者数 (人)	18,691	19,585	95.4%
貸出冊数 (冊)	97,303	102,908	94.6%
レファレンス数 (件)	248	287	86.4%
予約件数 (件)	8,418	8,879	94.8%
運行日数 (日)	224	225	99.6%
巡回数 (回)	1,716	1,731	99.1%
1回当たりの利用者数 (人)	10.9	11.3	96.5%
1回当たりの貸出冊数 (冊)	56.7	59.5	95.3%
1人当たりの貸出冊数 (冊)	5.2	5.3	98.1%

■ 移動図書館車を臨時の拠点とした地域住民の交流の場づくり

巡回先の町内会や児童センター等と情報交換を行い、地域住民の利便性向上等の観点から巡回先での移動図書館車駐車場所の見直しを図り、地域住民の利用と交流の促進により適した場を創り出した。併せて、「SENDAI SDGsWeek 2025」、「みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム」等幅広い世代が集まるイベントに参加し、移動図書館車両の展示等を通じて認知度向上に努めた。

■ 学校行事や地域イベントとの連携を通じた読書習慣の浸透と利用者の増加

市内の小学校が実施する公共図書館利用学習の施設見学で、図書館の施設案内と併せて移動図書館の基地案内を行ったほか、遠隔地の小学校等を対象に移動図書館学習会を実施し、借り方体験等により、児童の図書館に関する理解度向上と読書推進、利用促進に向けた取り組みを行った。巡回先になっている市民センター等財団運営施設に対しては、児童センターまつり等施設イベントでの移動図書館車両の展示や、移動図書館事業啓発用ポスター掲示、チラシ配布により、財団のネットワークを活用した取り組みも行った。

(2) 児童の健全育成による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第4号の事業)

地域における遊びを通じたこどもの健全育成や子育て支援のネットワーク拠点として、地域諸団体等と連携しながら、児童の健全育成、子育て家庭支援、地域交流推進、放課後児童健全育成の4つの機能を果たすために、地域性を踏まえた児童館事業に取り組んだ。

① 児童健全育成事業

地域のこどもたちへの遊び場の提供に加え、遊びの支援や各種行事等を通して児童の健全育成を図った。

ア こどもの自主性や協調性を育てる事業

こどもが自ら考えて遊びに取り組むことで自主性を培い、集団の遊びを通して相手を思いやる心や仲間大切さなど、協調性を育む事業を実施した。

(事業例)

- こどもの意見を取り入れながら、様々な遊びの体験や発表する機会を設けた取り組み
住吉台児童センター「やってみようBOX!・なんでも発表会」
- 高学年クラブの企画による乳幼児親子からシニア世代までを対象とした交流
桜ヶ丘マイスクール児童館「だれかのために作ってお茶会」
- 仙台市地域防災リーダーを講師に迎え、クイズ等の遊びや工作を通して防災・減災について学ぶ行事
長町児童館「防災大作戦」

イ 親子の交流事業

親子の交流を通して、親子での触れ合いやこどもの成長を喜びあう機会など、親としての成長とこどもの成長を育む事業を実施した。

(事業例)

- 将監3館連携による乳幼児親子の地域交流行事
将監西児童館・将監児童館・将監児童センター
「ドキドキタイム ジャガフェス・運動遊び・子育て講座」
- 子育て支援クラブとの共催による、調理を通じて防災について学ぶ親子交流行事
八乙女児童館「親子でサバ飯クッキング」
- 仙台白百合学園中学・高等学校グラウンドを会場に、マイナビ仙台レディースの選手による運動遊びを通じた親子交流行事
高森児童センター・高森東児童センター・寺岡児童センター
住吉台児童センター「親子DEエンジョイ・サッカー」

ウ 広域利用促進事業

- 第12回 ひと☆まち児童館フェスタ ～“やってみたい”をやってみよう!～

児童館の日常の活動を発信して親子の利用促進を図るため、家族で楽しみなら児童館の様々な活動を体験できる場として開催した。それぞれのブースで児童館の遊びを体験し、遊びを通して楽しみながら親子交流や異年齢交流のできる児童館合同行事として企画した。当日は市内各区から親子が集い、全市的な児童館行事として、笑顔あふれる賑わいとなった。

- ・実施日：令和7年8月10日(日)
- ・会場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
- ・来場者数：1,772名 ※入場自由
 内訳) 乳幼児 464名 小学生 389名 中高生 22名
 保護者 765名 一般 132名
- ・協力：公益財団法人仙台こども財団
 小松島児童館 (特定非営利活動法人 MIYAGI 子どもネットワーク)

② 子育て家庭支援事業

親子を対象とした行事や発達段階に応じた年間行事、幼児クラブの開設、子育て相談、子育てサークル等の育成などにより、子育て家庭への支援を行った。

ア 乳幼児親子の交流事業

親子のふれあい遊びや保護者、乳幼児同士の交流を通して、心身の成長を図りコミュニケーションをとりながら友だちづくりができるよう、発達段階に応じた活動や異年齢交流の事業を実施した。

(事業例)

- 運動遊びを中心とした、年間を通じた親子交流行事
 古城児童館「わんぱく広場」
- 小学生スタッフが企画した、乳幼児親子対象のまつり
 八木山児童館「ぼかぼかまつり」
- 大規模改修に伴い、長命ヶ丘中央集会所に出向いての年間を通じた親子交流行事
 長命ヶ丘児童センター「移動児童館」

イ 育児情報の提供及び育児相談事業

民生委員児童委員や保育士、地域の子育て経験者などと連携し、保護者が子育ての悩みを抱え、孤立することのないよう、児童館を拠点に育児相談や学習の場として、子育て家庭への支援を行った。

(事業例)

- 併設の幸町市民センターや宮城野区家庭健康課との共催による年間を通じた親子どうしの交流行事
 幸町児童館「子育てたのしんじゃOH!」
- 八乙女地区社会福祉協議会との共催による八乙女集会所に出向いての四季行事
 黒松児童館「親子で遊ぼう!」
- 併設のサンホームとの共催による入園前の親子を対象とした講座
 将監児童館「子育てミニ講座ドキドキ!もうすぐ入園」

③ 地域交流推進事業

地域や近隣館等との連携事業の実施や交流活動を通して地域コミュニティの活性化を図るとともに、子育て支援クラブなどの児童館を拠点に活動している、児童の健全育成を図る団体の育成支援を行った。

ア こどもと地域の交流促進事業

地域や世代を越えた交流を通して、地域を学ぶ機会や相手に対するいたわりの心を育むなど、社会性を育てる事業を実施した。

(事業例)

- 柏木市民センターと共催で、大崎八幡宮の境内で謎解きしながら親子で散策し、地域の歴史を学ぶ行事
八幡児童館「八幡まち歩き」
- 台湾出身の地域の方による親子を対象とした文化交流行事
中山児童館「台湾スイーツをつくろう!!」
- 仙台市立田子中学校や宮城県宮城野高等学校との連携による異年齢交流企画
田子児童館「共同画制作」

イ 子育て関係団体支援事業

児童健全育成に理解、関心を持つ地域住民、子育て支援クラブをはじめとした子育て支援団体などの関係団体や地域の人材、中高生などとの日常的な関わりや連携を強化するために、児童館がこれらの子育てに関わる活動の拠点となり、協力関係を構築、連携する事業を実施した。

(事業例)

- 併設の折立市民センターで育成した昔遊びボランティアによる、小学生を対象としたけん玉やこま遊びの行事
折立児童館「わらすこタイム」
- のびすく若林、民生委員・児童委員、若林更生保護女性会「だっこばあば」、ジュニアリーダー等との連携による乳幼児親子を対象とした子育て支援行事
南小泉児童館「あそびのひろば」
- 地域のこども食堂や民生委員・児童委員の協力による地域交流行事
遠見塚児童館「おやこでランチ」

ウ 保護支援事業

■ ひと☆まち 児童館子育てセミナー2026 ～親子でいっしょに！～

子育て中の保護者が、日々の子育ての悩みや喜び、楽しさなどについて、講師のトーク内容に共感しながら、子育てのあり方を学ぶ場として開催した。当日は、共に子育て中の出演者による子育てトークや参加者からの質問コーナー、こどもたちのステージコーナー等を設け、保護者もこどもも一緒になって学び、楽しむ場となった。

- ・実施日：令和8年2月1日(日)
- ・会場：仙臺緑彩館 交流体験ホール
- ・出演：小島よしお、名久井麻利
- ・来場者数：219名（70家庭） ※申込先着
内訳）保護者等119名、未就学児67名、小学生33名

④ 放課後児童健全育成事業

就労等により放課後等に保護者が家庭にいない小学生の児童を対象に、児童館・児童センターにおいて「遊びの場」「生活の場」を提供し、健全育成を図った。

(事業例)

- 児童クラブのこどもたちによる年間を通じた遊びの企画活動

湯元児童館「こどもスタッフYKC」

- 児童クラブの保護者が児童館での日常の遊びをこどもと一緒に体験する機会

南光台児童館「遊び体験会」

[児童クラブ登録者数等]

(単位：人)

	令和7年度 (74館)	令和6年度 (78館)	前年度比
登録者数	9,456	9,431	100.3%
延長登録者数	2,753	2,821	97.6%

※登録者数・延長登録者数は、4月1日現在の人数

⑤ 児童館・児童センター運営事業

こどもが安全・安心に過ごし、遊びや集団活動を通して豊かな経験と成長を育み、お互いを仲間として尊重しあい成長していくことができるよう、ソフト・ハード両面においての環境整備に取り組んだ。

[児童館・児童センター来館者数]

(単位：人)

	令和7年度 (74館)	令和6年度 (78館)	前年度比
乳幼児	65,993	77,792	84.8%
小学生	1,416,455	1,459,885	97.0%
中学生	15,441	12,420	124.3%
高校生	1,528	1,357	112.6%
その他	90,554	101,266	89.4%
合計	1,589,971	1,652,720	96.2%
1館1月平均	1,790.5	1,765.7	

⑥ 大会・研究集会の開催

- 第8回 ひと☆まち児童館フォーラム in 仙台 ～こども・若者がつなぐ・ひろがる地域づくり～

児童館職員が中心となってこどもを取り巻く地域環境を展望しつつ、児童館の基本に立ちかえり、児童館の今日的役割について、所属や地域を越えて共に学び・考える場として開催した。県内外に広く参加を呼びかけて、児童館職員による主体的な自己研鑽の機会となった。当日は動画によるライブ配信を行い、多様な参加形態を設け、全国に発信した。

- ・実施日：令和8年2月22日(日)
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・来場者数：183名(市内148名 県内25名 県外10名) ※事前申込制
- ・ライブ配信：視聴回数 248回 最大同時接続数 49端末

- ・基調講演1「地域で育つこども・若者 一児童館と公民館の社会的機能と役割」
講師：国立大学法人岩手大学教育学部 准教授 深作拓郎
- ・基調講演2「こども・若者の居場所と社会参画 ーみんなの公民館まるー」
講師：特定非営利活動法人わかものまち 代表理事 土肥潤也
- ・パネルトーク「こども・若者がつなぐ・ひろがる地域づくり」
講師2名がコーディネーター及びコメンテーターを務め、パネラーによる事例報告等を交えながら表題についてトークセッションを実施した。
(パネラー)
一般社団法人トリナス みんなの公民館まる 館長 鈴木貫司
名取市下増田児童センター 館長 渡邊由貴
茂庭台市民センター・児童館 館長

(3) 地域文化活動振興による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第2号の事業)

戦災復興記念館及び文化センターでは、施設管理の業務にとどまらず、地域の文化や特性などを生かした多様な自主事業を展開し、市民の文化・芸術活動を通じた地域づくり、未来を支えるコミュニティづくりの発展に積極的に取り組んだ。

① 地域文化創造事業

住民の地域への誇りや愛着を深め、地域社会の連帯感を高めるため、共通のよりどころとなる地域の歴史、風土等に培われた特色ある伝統的な文化を生かした事業を実施した。

また、地域住民や各施設の利用者などと連携し、地域から新しい文化芸術活動を創造し、発信するための事業を実施した。

(主な事業)

ア 戦災復興記念館

■ 仙台クラシックフェスティバル2025 街なかコンサート【第7回】

せんくらファミリーコンサート「チェロはうたう、平和のうた」

仙台クラシックフェスティバル2025の関連事業の一環として、より多くの地域の方々にクラシック音楽の魅力に接する機会の提供を目的に開催した。令和7年度は、仙台空襲及び第二次世界大戦終結から80年の節目の年であったことから、平和への祈りを込めた演奏を実施した。

- ・実施日：令和7年9月7日（日）
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出演者：三宅進（チェロ）、澤田和歌子（ピアノ）
- ・入場者数：320名（ホワイエでの鑑賞を含む）

■ 仙台いぐすか寄席【第5回】

【ひと☆まち CONNECT selection program2025】

世代を超えて気軽に寄席を楽しみ、笑いを共有できる場の創出を目指し、仙台に縁のある落語家と漫才師を迎えて開催した。

- ・実施日：令和7年11月15日（土）
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール

- ・出演者：六華亭遊花、ニードル、春風亭与いち
- ・入場者数：延べ 451 名（午前の席 247 名、午後の席 204 名）

■ 戦災復興記念館コンサート 2026 春風メモリアルコンサート【第 2 回】

ステージで発表することが記念（メモリアル）となるよう、地域の小学校などの子どもたちやステージ発表の経験がない個人、グループを募り、演奏に込めた想いを紹介しながら、出演者と来場者がともに早春にふさわしい暖かい音楽を感じることできるコンサートを実施した。

- ・実施日：令和 8 年 2 月 15 日（日）
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出演団体：8 団体（片平おことクラブ、立町児童合唱団 他）
- ・入場者数：164 名

■ 歴史ミュージアムネットワーク（通称：歴ネット）

仙台市内にある 9 つの歴史・文化系の施設で結成した「歴ネット」は、仙台の歴史や文化に親しんでもらうため、合同でビンゴ形式の「歴ネットクイズラリー' 25」を実施した。また、戦時中の暮らしに触れる特別体験を限定 15 組に提供した。さらに伝統門松の展示等を実施した。

- ・実施日：令和 7 年 10 月 4 日（土）～ 12 月 26 日（金）

イ 宮城野区文化センター

■ ワンコインコンサート

【ひと☆まち CONNECT selection program2025】

地域住民が手頃な料金で、クオリティの高い音楽に親しめるよう、平成 25 年度からシリーズ化して実施している。夜間の催事に足を運びづらい方にも気軽に来てもらえるよう、平日昼間に開催した。

	実施日	出演者
第 60 回	令和 7 年 5 月 15 日（木）	ピアノデュオ リブラ 文京華 三又瑛子
第 61 回	令和 7 年 7 月 17 日（木）	平澤真悟（尺八） 小平圭亮（ピアノ）
※第 62 回	令和 7 年 9 月 25 日（木）	川又明日香（ヴァイオリン） 北端祥人（ピアノ）
第 63 回	令和 8 年 1 月 22 日（木）	小畑実織（フルート） 千葉絵里子（ピアノ）

- ・会場：宮城野区文化センター コンサートホール
- ・入場者数：延べ 1,336 名（全 4 回）

※（公財）仙台市民文化事業団と共催で「仙台クラシックフェスティバル（せんくら）」のイベントとして、「仙台クラシックフェスティバル 2025 街なかコンサート 宮城野区文化センターワンコインコンサートシリーズタイアップ企画『名曲いっぱい！大好き！クライスラー！【クライスラー生誕 150 年】』」として開催した。

■ ワンコインシアター

演劇やリーディングを気軽に味わうことができるパトナシアターならではのステージイベントとして、令和 2 年度からシリーズ化して実施している。公演内容は、寄

席、演劇や朗読とし、文化芸術に馴染みが薄い方々にも楽しめる題材を取り上げ、仙台の演劇人等の活躍の場を広げるとともに、言葉の芸術に親しむ市民のすそ野を広げていくことを目指した。夜間の催事に足を運びづらい方、日中働いている方や学生の方にも来場してもらえよう、昼間と夜間の2回公演で開催した。

- ・実施日：令和7年6月19日(木) vol.19「飛び花座 宮城野寄席」
令和7年10月18日(土) vol.20 演劇「イサムよりよろしく」
令和7年12月18日(木) vol.21 朗読「死にたくはございませぬ
～太宰治の手紙～」
令和8年2月23日(月・祝) vol.22 Reading Stage
「相沢のおとうさん」

- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・入場者数：延べ1,313名(全8回)

■ 室内楽セレクション “Music from PaToNa” 【第12シーズン】

パトナホールは、優れた残響特性を持ち弦楽器等の音色が美しく響くことや、客席数の規模などから、“室内楽”ジャンルに適したホールとして演奏家の間で高い評価を得てきた。文化センターでは、響きの良いホールで良質な音楽を、低廉な料金を提供する機会を設け、地域住民への文化芸術の普及、及び関心を高める契機とするための室内楽コンサートを年4回開催した。併せて、関連イベントとしてオープンゼミナールや音楽を学ぶ学生たちにアンサンブルのポイントをレクチャーするアンサンブル・アカデミーなどを開催した。

12th Season

- ・実施日：令和7年4月23日(水) vol.43「うららか」
令和7年7月3日(木) vol.44「いつくしむ」
令和7年11月6日(木) vol.45「とぎすます」
令和8年2月4日(水) vol.46「つつみこむ」
- ・会場：宮城野区文化センター コンサートホール
- ・入場者数：延べ1,029名(全4回)
- ・関連イベント：オープンゼミナール(年4回)
公開リハーサル(年1回)
アンサンブル・アカデミー(年1回)

■ 震災復興共催事業【第14回】

宮城野区が東日本大震災で大きな被害を受けたことを踏まえ、震災復興に携わる団体や地域住民とともに、震災の記憶の伝承と交流を目的に朗読会を協働で開催した。

- ・実施日：令和8年3月7日(土)
- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・入場者数：120名

■ ワークショップ事業 演劇ワークショップ「みやぶん演劇学校」【第13回】

参加者が演劇を体感することにより、自分の体に潜む感覚、感性に気付き、表現を発見し、その体験を通じて日常生活を豊かにするきっかけづくりのひとつになることを目指して演劇ワークショップを開催した。様々な世代の方が参加することによって普段できないつながりを感じ、ワークショップを通して“非日常感”を実感することにより、より多くの文化芸術に触れるきっかけとなることを目的とし開催した。

- ・実施日：令和7年12月2日(火)、5日(金)、9日(火)、12日(金)、16日(火)
- ・会場：宮城野区文化センター リハーサル室
- ・講師：紅絹（もみ）（ファシリテーター）
佐藤舞織（アシスタント）
- ・参加者数：延べ63名（全5回）

■ 宮城野うたまつり【第10回】

「歌のチカラでみんな元気に！」という趣旨のもと、地域（宮城野区）の発展と交流を目的に、地域の合唱サークルを中心とした合唱祭を市民センターと共催で開催した。

- ・実施日：令和7年9月6日(土)
- ・会場：宮城野区文化センター パトナホール
- ・参加団体：16団体
- ・入場者数：200名

■ みんなの広場づくりプロジェクト【第13シーズン】

地域の方々の交流の場となる「みんなの広場」としての空間づくりと、創造性豊かなこどもの育成、区内の若い世代による創作及び普及活動の支援を目的として文化センター内外に飾り付けを行った。

- ・実施回数：年6回

(主な展示等)

□ 「空間のアトリエ」

地域の保育園、幼稚園、児童館の協力を得て、こいのぼりや七夕吹流し、ウィンターペナントなどを作製し、吹抜けに展示した。併せて、施設の利用者にも「つながるこいのぼり」や「願い星飾り」、「冬のペナント」を作製してもらい展示した。

□ 「お花をいっぱい咲かせよう」

併設施設の原町児童館の児童と一緒に、文化センター前広場に設置しているプランターの植物の植え替えを行った。

□ 「夢ギャラリー」

区内の学生を対象にパブリックスペースを会場とした発表の場を提供し、文化センターの賑わいを創出した。宮城県宮城野高等学校美術科の卒業制作作品展を行った。

■ フラットシアターフェスティバル【第4回】

障がいや年齢の違いを問わず、あらゆる子どもたちが舞台芸術や様々な表現を楽しめるイベントを関連団体との共催で開催した。

- ・実施日：令和7年9月13日(土)～14日(日)
- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール他
- ・入場者数：延べ1,167名

ウ 若林区文化センター

令和5年4月1日から令和7年6月まで大規模改修工事に伴い休館していたが、令和7年7月から全館再開館し、自主事業についても再開した。

■ わかぶんだンス・フェスティバル【第13回】

市内で活動している各種ダンスの団体や高等学校のダンス部などの協力を得て、多くの市民に、ダンスの文化を通じた人と地域の交流による魅力や活力などを発信するとともに、文化活動への参加契機とすることを目的に開催した。

- ・実施日：令和7年7月19日（土）
- ・会場：若林区文化センター ホール
- ・入場者数：400名
- ・出演者：聖和学園高等学校チアリーディング部 PHOENIX、南小泉児童館ダンスチーム、レイモミ小野フラスクール仙台支部、仙台市立仙台高等学校ダンス部、仙台育英学園高等学校チアリーディング部 I-LIONS、七郷すずめ踊りクラブ・蒲町すずめっこクラブ、パフォーマンス集団「白A」計8団体（150名）

■ 若林区童謡フェスティバル【第30回】

【ひと☆まち CONNECT selection program2025】

幅広い世代に親しまれている童謡などの継承発展と地域の方々の交流促進を図るとともに、よりよい地域コミュニティづくりを推進することを目的として開催した。

- ・実施日：令和7年11月8日（土）
- ・会場：若林区文化センター ホール
- ・入場者数：300名
- ・出演者：仙台市立南材木町小学校南の星合唱団、コール三燦、コールはまなす、仙台市立八軒中学校合唱部、るるる^らハーモニー、若林混声合唱団、仙台童謡愛好会、宮城学院女子大学音楽リエゾンセンター認定演奏員計8団体（112名）

■ わかぶん吹奏楽フェスティバル【第4回】

区内を中心に活動する吹奏楽の団体による音楽祭を開催し、広く地域の方々に素晴らしい演奏に触れてもらう機会を設け、その魅力を実感していただくことを通して、地域の方々の交流促進と地域コミュニティづくりを推進することを目的として開催した。

- ・実施日：令和8年1月12日（月・祝）
- ・会場：若林区文化センター ホール
- ・入場者数：400名
- ・出演者：仙台市立南小泉中学校吹奏楽部、ブラスパーティ仙台東、仙台市立八軒中学校吹奏楽部、若林区吹奏楽団、宮城県仙台第一高等学校放送部（司会）計5団体（66名）

■ ミュージック・ギャラリー【第10・11回】

日頃文化センターを利用し、楽器の練習をしている方々に発表の機会を提供し、活動支援と利用者間交流の場を設けた。また、地域の方々に音楽の素晴らしさに触れてもらうことで、文化芸術に親しむ市民の裾野を広げるとともに、文化活動の活性化を推進することを目的に開催した。

- ・実施日：令和7年7月12日（土）、12月6日（土）
- ・入場者数：延べ160名

■ グランドロビー活用事業

1階のグランドロビーでは、季節感の演出のほか、区内の情報発信、地域コミュニティづくりの支援等を行うため、ロビーを活用した展示を実施している。令和7年度は、若林区内で活動する団体と連携した展示を中心に、10事業を実施した。

（主な展示等）

□春の折り紙展

- ・実施日：令和7年4月29日（火・祝）～5月25日（日）
- ・協力：白い花の会・仙台南折り紙クラブ

□ねこまつり関連写真展

- ・実施日：令和7年6月12日(木)～6月26日(木)
- ・主催：猫塚古墳 ねこまつり実行委員会

□七夕飾り

- ・実施日：令和7年7月16日(水)～8月10日(日)
- ・協力：若林区中央市民センター、ケアーズ仙台東

□デイサービス作品展

- ・実施日：①令和7年11月15日(土)～11月30日(日)
②令和7年12月2日(火)～12月14日(日)
- ・共催：デイサービスメロディー、ツクイ若林七郷

エ 太白区文化センター

■ きままにクラシックコンサート【第2回】

出演者と参加者の距離感が近く、一体感のあるステージ構成が可能な展示ホールを会場として、参加者がリラックスしながら、クラシック音楽を楽しめるコンサートを開催した。

- ・実施日：令和7年7月20日(日)
- ・会場：太白区文化センター 地下1階展示ホール
- ・協力：マーベラス・スタジオ
- ・入場者数：22名

■ 夏休み企画「ほしひろば」

地域の親子連れや児童館に来館している小学生に、文化センターを身近に感じてもらうことと夏休みの思い出作りのひとつとして、誰でも簡単に取り組むことができる工作ワークショップを実施した。

- ・実施日：令和7年8月4日(月)
- ・会場：太白区文化センター 1階エントランススペース
- ・共催：長町児童館
- ・参加者数：44名

■ 長町から JAZZ に触れるクリニック&コンサート【第5回】

【ひと☆まち CONNECT selection program2025】

小中高校の吹奏楽部を対象に、技術の向上と参加団体同士の交流を図ることを目的として地元アーティストによるミュージッククリニックを実施した。また、クリニック終了後には、指導を行った地元アーティスト出演の、気軽に楽しんでいただけるジャズコンサートを開催した。

- ・実施日：令和7年9月27日(土)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール

【ミュージッククリニック】

- ・参加団体：仙台市立人來田中学校、仙台城南高等学校 計2団体(20名)

【ジャズコンサート】

- ・出演者：熊谷駿(サクソ)、岡本優子(ピアノ)
森木啓太(ベース)、岸川雅裕(ドラム)
- ・入場料：1,000円
- ・入場者数：512名

■ 楽楽楽ステージパフォーマンス 2025【第13回】

可変式の楽楽楽ホールの特徴を活かし、三方から観覧でき、パフォーマンスに最適な「オープンステージ」を使用し、出演者と来場者が一体となって楽しめるステージイベントを開催した。地域や文化センターで活動している団体が出演し、ビッグバンドやダンス等、多彩なパフォーマンスを披露した。

- ・実施日：令和7年11月9日(日)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・出演団体：計5団体(140名)
八木山バンドサークル“夢色音楽隊”、Hula Honi Ke Aloha、鳳翔乱舞
聖和学園高等学校舞踊&ダンス部、富沢小学校 子すずめ楽鼓クラブ
- ・入場者数：250名
- ・協力：宮城県仙台西高等学校 放送部

■ 楽楽楽文化祭 2025～「楽しいこといっぱい！」【第9回】

アートを介して障がい者支援を行う団体と協力し、来館した誰もが気軽に多様な文化芸術に親しみ、体感できるイベントを実施した。障がい者や乳幼児親子、高齢者、性別や年齢を問わず、会場に来た方々が楽しめるコンサートやワークショップ等を開催した。

- ・実施日：令和7年12月20日(土)～21日(日)
- ・会場：太白区文化センター
楽楽楽ホール：「冬のひだまりコンサート」
ホワイエ：「楽楽楽マルシェ！」
展示ホール：「アートワークショップ『アクアクリスタルを取り戻せ！
ウォーターフォレストの冒険』」
リハーサル室：「ギター・ウクレレ体験」
大会議室：「楽楽楽多文化映像祭」
- ・共催：一般社団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人ほっぷの森
- ・入場者数：延べ1,000名

■ 楽楽楽ミュージックフェスティバル 2026【第13回】

太白区内の小中高生や、地域で活動しているサークル団体に、成果発表の機会と交流の場を提供することを目的に実施した。共催団体と実行委員会を組織し、合唱と吹奏楽を1日で楽しめるイベントとして開催した。

- ・実施日：令和8年1月24日(土)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・出演団体：第1部(合唱編) 11団体
第2部(吹奏楽編) 19団体
- ・入場者数：延べ1,580名
- ・主催：楽楽楽ミュージックフェスティバル実行委員会
- ・共催：宮城県合唱連盟、太白区民合唱祭実行委員会、宮城県仙台太白地区吹奏楽連盟

■ まちかどピアノ@展示ホール

展示ホールの空き時間を利用して“自由に弾けるピアノ”を設置し、市民が気軽にグランドピアノに触れる機会を設け、「たいはっくる」全体を音楽の流れる空間とすることで、賑わいの創出につなげるため実施した。

- ・実施日：令和7年6月5日(木)、8月6日(水)、9月4日(木)、10月15日(水)
11月27日(木)、令和8年1月29日(木)、2月24日(火)

- ・会 場：太白区文化センター 地下1階展示ホール
- ・演奏者数：各回 10～20名

■ ミニギャラリー展示

1階エントランスの掲示スペースを「太白区文化センターミニギャラリー」とし、文化センターや市民センターで活動する文化系サークル団体の絵画や折り紙等の作品を展示した。併せて、財団の運営する児童館や近隣団体等と連携し、来館者に楽しんでいただける場づくりや地域の情報発信を行った。

- ・実施回数：年13回

(主な展示)

「千彩会」

- ・実施日：令和7年5月23日(金)～6月6日(金)

セタかざり「ほしにねがいを」

- ・実施日：令和7年7月15日(火)～8月4日(月)

オ 広瀬文化センター

令和7年7月1日から令和9年6月まで大規模改修工事に伴う休館中のため、自主事業については近隣施設等に会場を変更して開催を継続した。

■ 広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～【第5回】

【ひと☆まち CONNECT selection program2025】

宮城県宮城広瀬高等学校演劇部の卒業生を中心に結成され、国内外で高く評価されている白Aのプロデュースによるステージイベントを、併設する広瀬市民センターとの共催事業として開催した。同校在校生も運営スタッフとして役割を担うなど、協働して実施した。

ステージイベントの開催に先立ち、広瀬市民センター及び愛子児童館との3館共催事業「わくわくアートワークショップ」として「アート作品づくりワークショップ」を開催したほか、仙台市立仙台高等学校ダンス部、社会福祉法人 恵萩会 落合はぐくみこども園と連携して「ダンスワークショップ」を開催し、各ワークショップで創り上げた作品をステージイベントで披露するなど、近隣施設や参加者とともにイベントを創り上げた。

ダンスワークショップ

仙台市立仙台高等学校ダンス部

- ・実施日：令和7年9月8日(月) 他3日間
- ・参加者数：延べ64名(全4回)

落合はぐくみこども園

- ・実施日：令和7年10月15日(水)、10月22日(水)
- ・参加者数：延べ50名(全2回)

アート作品づくりワークショップ ※3館共催事業「わくわくアートワークショップ」として開催

- ・実施日：令和7年11月15日(土)
- ・会 場：広瀬市民センター セミナー室A・B、和室1・2
- ・参加者数：29名

ステージイベント

- ・実施日：令和7年12月6日(土) 宮城県宮城広瀬高等学校在校生等向け公演
令和7年12月7日(日) 一般公演

- ・会 場：宮城県宮城広瀬高等学校 体育館
- ・入場者数：延べ 900 名
- ・出演団体：パフォーマンス集団「白 A」、仙台市立仙台高等学校ダンス部、
社会福祉法人 恵萩会 落合はぐくみこども園

■ ひろせの森クリスマスワークショップ「親子で作ろうキラキラ万華鏡」&「ミニおはなし会」【第 4 回】

次世代につなぐ魅力ある地域コミュニティの創造を目指し、併設する広瀬市民センターと広瀬図書館との 3 館共催事業として、親子参加型の作品づくりとして万華鏡作りとミニおはなし会を開催した。

- ・実施日：令和 7 年 12 月 21 日(日)
- ・会 場：広瀬市民センター セミナー室 A・B、和室 1・2
- ・参加者数：延べ 103 名

■ 一撮る・観る・想うー PHOTO HIROSE 2025【第 12 回】

ロビー等の空間を活用しながら、地域の団体に日ごろの活動の成果発表の機会を提供することを目的に、近隣の高等学校や高等専門学校等と連携して写真展を開催した。

- ・実施日：令和 7 年 11 月 29 日(土)～12 月 14 日(日)
- ・会 場：広瀬市民センター 2 階オープンステージ、オープンスペース
- ・出展団体：5 団体（宮城県宮城広瀬高等学校写真部 他）
- ・来場者数：延べ 967 名

■ ひろせサロンコンサート【第 1 回】

地域に所縁のあるプロの演奏家等を招き、良質な音楽の提供を通じた文化芸術の普及促進を目的に、併設する広瀬市民センターとの共催事業として開催した。プロの演奏のほか、大規模修繕工事に伴い発表機会が減少するサークル団体に、演奏等のステージ発表の機会を提供した。

	実施日	出演者
第 1 回	令和 7 年 6 月 26 日(木)	長谷川康トリオ 長谷川康 (ヴァイオリン) 木立至 (オーボエ) 東歩美 (ピアノ)
第 2 回	令和 7 年 8 月 28 日(木)	石田陽祐 (篠笛)
第 3 回	令和 7 年 9 月 25 日(木)	山下圭 (ギター)
第 4 回	令和 7 年 11 月 27 日(木)	M-duo (エムデュオ) 滝井みゆき (ヴァイオリン・ピアノ) 滝井ゆきの (ピアノ)
第 5 回	令和 8 年 1 月 22 日(木)	劇団ひろせ (紙芝居) カラオケサークル ラブ (カラオケ) コール広瀬 (合唱)
第 6 回	令和 8 年 2 月 26 日(木)	愛子ギターアンサンブル(ギター) ハワイアンダンス (フラダンス) スポーツ民謡はつらつ (ダンス) 混声合唱団 音里遊 (合唱)

- ・会 場：広瀬市民センター 2 階オープンステージ、オープンスペース
セミナー室 A・B
- ・入場者数：延べ 511 名 (全 6 回)

■ 賑わい空間創出事業

明るく親しみやすく、入館しやすい施設とすることを目的に、併設する広瀬市民センターとの共催事業として開催した。1階ロビーや風除室、2階オープンスペースに季節に因んだ装飾を行うとともに、工作コーナーを設け、来館者が気軽に季節のイベントを楽しめる賑わい空間を創出することを目的に実施した。

・実施回数：年 11 回

(主な事業)

- ひろせの森ワークショップ～おはなばたけをつくろう～
 - ・実施日：令和7年4月1日(火)～4月6日(日)
- ひろせの森ワークショップ～こいのぼりとかぶとをつくってこどもの日をお祝いしよう♪～
 - ・実施日：令和7年4月22日(火)～5月6日(火)
- ひろせの森ワークショップ～工作で梅雨をたのしもう♪～
 - ・実施日：令和7年6月10日(火)～6月29日(日)
- ひろせの森ワークショップ～ねがいをこめて七夕かざりをつくろう～
 - ・実施日：令和7年7月29日(火)～8月8日(金)
- ひろせの森ワークショップ～うみをつくろう～
 - ・実施日：令和7年8月19日(火)～8月31日(日)

■ 「マイステージ in ひろせ」「マイギャラリー in ひろせ」

2階オープンステージを活用する「マイステージ in ひろせ」と、1階ロビーや2階オープンスペースを活用する「マイギャラリー in ひろせ」を通年開催した。令和7年度は、自主事業「ひろせサロンコンサート」や「一撮る・観る・想うー PHOTO HIROSE 2025」、「賑わい空間創出事業」を開催したほか、サークル団体や地域の中学校、併設施設の作品展示等を25事業実施した。

(主な展示等)

- みやぎ絵の会「絵の展示」
 - ・実施日：令和7年5月26日(月)～6月7日(土)
- 広瀬中学校等4校特別支援教室「はばたけ展」
 - ・実施日：令和8年2月7日(土)～2月20日(金)

カ ひと☆まち CONNECT selection program 2025

戦災復興記念館と文化センターにおいて、それぞれの特色と組織力を活かし、文化事業の魅力をより身近に体感できるイベントをリレー形式で開催し、財団の他の事業にも関心を広げてもらう機会とした。

■ 若林区文化センター 令和7年11月8日(土)

第30回若林区童謡フェスティバル

■ 戦災復興記念館 令和7年11月15日(土)

第5回仙台いぐすか寄席

■ 広瀬文化センター 令和7年12月6日(土)、12月7日(日)

第5回広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～

■ 太白区文化センター 令和7年9月27日(土)

第5回長町から JAZZ に触れるクリニック&コンサート

■ 宮城野区文化センター 令和8年1月22日(木)

第63回ワンコインコンサート

② 文化活動拠点施設等の運営及び文化活動の育成支援事業

ア 地域文化活動拠点施設等の管理運営

仙台市内にある数多くの文化芸術団体等に対して、練習や発表の場を提供し、文化芸術の向上が図られるよう、文化センター等のホールや会議室等を利用に供するなどの施設運営を行った。

(主な事業)

- 戦災復興記念館運営
- 宮城野区文化センター運営
- 若林区文化センター運営
- 太白区文化センター運営
- 広瀬文化センター運営

[文化センター等の利用件数・利用率]

		利用件数			利用率		
		7年度 (件)	6年度 (件)	前年度比	7年度 (%)	6年度 (%)	増 減
戦災復興 記念館	記念ホール	267	256	104.3%	65.2	69.9	△ 4.7
	展示ホール・会議室等	3,360	3,216	104.5%	64.2	67.5	△ 3.3
宮城野区 文化センター	コンサートホール	295	309	95.5%	76.1	75.5	0.6
	シアターホール	186	222	83.8%	50.7	56.6	△ 5.9
	リハーサル室等	3,406	3,408	99.9%	95.9	96.7	△ 0.8
若林区 文化センター	ホール	156	-	-	56.3	-	-
	展示ホール等	203	-	-	65.9	-	-
太白区 文化センター	楽楽楽ホール	244	227	107.5%	63.9	65.6	△ 1.7
	展示ホール等	3,993	3,919	101.9%	94.2	92.9	1.3
広瀬 文化センター	ホール	54	232	23.3%	58.6	62.6	△ 4.0
	リハーサル室	240	907	26.5%	88.5	94.7	△ 6.2

※備考

- ・利用件数 部屋毎、日毎に算出
- ・利用率 総利用日数÷総開館日数
(総利用日数=各室利用日数の合計)
(総開館日数=各室利用可能日数の合計)

※若林区文化センター ホール: R5. 4. 1~R7. 6. 30 大規模改修工事による休館

※広瀬文化センター: R7. 7. 1~大規模修繕工事による休館

イ 文化活動育成支援事業

発表の場における効果的な演出のアドバイスや、日頃の活動を把握して他の団体との連携をコーディネートする等、利用者の技術の向上に寄与できるよう取り組んだ。また、若年層を対象とした照明・音響・舞台機構等の操作を体験できる機会を提供し、若い世代の文化の担い手育成に取り組んだ。

(主な事業)

宮城野区文化センター

■ 冬の親子ステージ探検隊「みんなで劇場を探検してみよう！」【第13回】

冬休みの小中高生親子を対象に、舞台芸術に興味を持つきっかけと、思い出づくりの場を提供するため、体を使った表現活動に関するワークショップと照明や音響機器の操作等の舞台技術を体験するワークショップを開催した。

- ・実施日：令和8年1月12日(月・祝)
- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・参加者数：8組 18名

若林区文化センター

■ 若林区文化センターバックヤードツアー【第9回】

若林区文化センターへの来館促進や舞台演出の担い手育成のきっかけづくりを目的として、親子対象の事業として若林区図書館との共催により開催し、普段はなかなか立ち入れない文化センターのホールや図書館の書庫の「探検」を実施した。

- ・実施日：令和7年8月8日(金)
- ・会場：若林区文化センター ホール他
- ・参加者数：10名

太白区文化センター

■ ホールのうらがわ探検ツアー【第9回】

小学生を対象に、楽楽楽ホールのバックステージツアーを開催した。舞台裏や客席・舞台上部、ステージタイプ変更時の客席移動の見学や、音響・照明設備の操作体験をすることにより、舞台への興味関心を深めてもらった。

- ・実施日：令和7年7月27日(日)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・参加者：21名

広瀬文化センター

■ バックヤードツアー【第10回】

文化センターホールの舞台裏を公開することで、市民の方々が舞台芸術に触れ、施設をさらに知っていただく機会とすることを目的に開催した。

なお、令和7年度は、普段からホールやリハーサル室等をご利用いただいている「DANCE SCHOOL ATOMS」と連携し、ATOMSの児童を対象に開催した。

- ・実施日：令和7年6月3日(火)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・参加者数：100名

■ わくわく体験！音ってなあに？光ってなあに？【第5回】

児童に音や光の仕組みに気軽に触れる機会を提供し、舞台芸術に興味・関心を持つきっかけづくりとすることを目的に、近隣の川前児童館との共催事業として開催した。あわせて、コンサートホールの基幹設備である照明・音響の基礎知識に触れる職業体験の機会を提供した。

- ・実施日：令和7年7月12日(土)
- ・会場：川前児童館 遊戯室
- ・参加者数：15名

③ 地域の歴史に関する伝承事業

地域の人々の生きた歴史や文化を知ることによって地域住民の連帯感の醸成を促し、未来を担う次世代へそれらをつなげていくために、仙台市の戦災復興の歴史を中心としてこれらを語り継ぐ事業を実施した。

ア 戦災と復興に関する資料収集と伝承活動

戦災復興記念館がこれまで引き継いできた写真、図書及び資料等を適切に保管しながら、資料展示室の運営や宮城野文化センター、若林区文化センター、太白区文化センター、生涯学習支援センターにおける出張展示、貸出等による伝承活動を行った。

イ 地域における戦災と復興の歴史を語り継ぐ事業

学校、市民センター等と連携し、職員及びボランティアによる資料展示室の収蔵品の解説や戦災体験談の講話等を行い、仙台市における戦災と復興の歴史を次世代に語り継ぐ事業を実施した。

ウ 戦災復興展の開催

当時の人々の暮らしや思いを知り、復興を遂げた仙台の歴史を振り返る機会として、毎年仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催し、語り部による空襲体験談の発表や平和祈念コンサートを行っている。令和7年度は、オープニングセレモニーを兼ねて、仙台・空襲研究会による「民間用として造られた国内最大規模の防空壕」に関する講演会を開催した。また、企画展として東北大学、東北学院大学、仙台・空襲研究会等による資料展示や漫画パネル展示を実施した。

- ・開催日：令和7年7月5日（土）～7月13日（日）
- ・会場：仙台市戦災復興記念館
- ・入場者数：延べ3,381名（大人2,931名 中学生以下450名）
- ・内容：企画展等の展示 11企画
- 講演会 1講演 入場者数127名
- コンサート 2公演 入場者数延べ775名
- 朗読会 1講演 入場者数258名
- 空襲体験談 6講演 入場者数延べ256名
- 紙芝居上演 1本 入場者数8名
- 篠笛演奏とゴスペル 1公演 入場者数71名
- 家族の体験記発表 1講演 入場者数63名
- 平和学習 1回 受講者数285名
- まち歩き 2回 参加者数延べ20名

エ 平和学習・出前講座の実施

修学旅行や校外学習等で来館した小中高生に映像「仙台と空襲」を視聴してもらい、職員やボランティアによる講話や戦災体験談、資料展示室の見学等の平和学習を実施した。また、市内の小・中学校の授業や市民センター等に出向く「出前講座」を実施し、戦中戦後の地域の様子や生活、仙台空襲や当時の生活様式について解説した。

市内小中学校・高校、県内外小中学校等 計41団体 計2,015名

④ 地域の文化情報等の提供・相談事業

仙台市の刊行物や観光パンフレットなどの市政全般に関する資料の収集・提供等に併せて、独自で収集した地域イベント、歴史、文化に係る資料等を宮城野区・太白区・若林区文化センター内に設置された情報センターにおいて提供した。

また、市民のコミュニティ活動に関する問い合わせや地域で抱える問題等について、市政情報を活用した相談事業を行った。なお、若林区文化センターは、令和7年6月まで大規模改修工事中であり、事務所を若林区中央市民センター別棟に移し、仮事務所により運用していた令和6年6月から令和7年1月20日までの期間においては、情報センターの業務について、規模を縮小し、有償刊行物販売等の限定的な提供を行った。

	宮城野区情報センター			若林区情報センター			太白区情報センター		
	7年度	6年度	前年度比	7年度	6年度	前年度比	7年度	6年度	前年度比
相談件数	17	75	22.7%	25	46	54.3%	397	504	78.8%
閲覧者数	7,958	10,343	76.9%	5,978	4,667	128.1%	19,119	19,485	98.1%
貸出冊数	0	3	0.0%	0	-	0.0%	12	18	66.7%
販売冊数	27	34	79.4%	7	37	18.9%	32	69	46.4%

(4) 地域コミュニティまつり支援事業（定款第4条第1項第1号の事業）

① 地域コミュニティまつり助成事業

地域づくりの基礎となるお互いの連帯感や共同意識、信頼関係を築くための共通の活動や経験の場として、また、地域住民の交流促進を図るために、仙台市内の町内会などが企画・実施するコミュニティまつりの経費の一部を、世帯区分に応じた金額で助成した。

助成件数 411 件、助成金額 13,185,532 円

		青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
助成 件数 (件)	7年度	109	88	46	102	66	411
	6年度	108	86	45	93	62	394
前年度比		100.9%	102.3%	102.2%	109.7%	106.5%	104.3%
助成 金額 (千円)	7年度	3,473	2,788	1,496	3,228	2,200	13,185
	6年度	3,452	2,738	1,466	2,946	2,072	12,674
前年度比		100.6%	101.8%	102.0%	109.6%	106.2%	104.0%

② 地域コミュニティまつり相談・支援事業

コミュニティまつりの実施内容などについて相談を受け、他団体事例等の情報を提供するなどして、コミュニティまつりの実施を通じた地域づくりを支援した。

(5) 交通の安全確保による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第6号の事業)

① 幼児・児童・保護者・高齢者に対する交通安全教育事業

安全・安心で住みよい地域社会づくりのために、交通事故防止と交通ルール順守及びマナーの向上をめざして、市内の幼稚園・保育所や児童館等において、幼児・児童と保護者を対象とした交通安全教育を実施した。また市民センターの老壮大学や各地区老人クラブ、社会福祉協議会、市内町内会等からの依頼を受けて、全交通事故死者の約半数を占める高齢者を対象とした交通安全教育を実施した。

なお、交通安全教育の総実施回数は前年度に比べやや減少したものの、参加者数は増加傾向にある。

【交通安全教育の活動実績】

区 分	実 施 回 数					参 加 人 数				
	幼児等	児童	保護者	高齢者	計	幼児等	児童	保護者	高齢者	計
7年度	209	29	3	17	258	13,410	1,513	12	397	15,332
6年度	237	8	17	21	283	12,289	425	86	482	13,282
前年度比	88.2%	362.5%	17.6%	81.0%	91.2%	109.1%	356.0%	14.0%	82.4%	115.4%

② 各種イベントと連携した交通安全教育事業

宮城県警察本部、市内各警察署、市内各地区交通安全協会等の各種交通安全活動推進団体等と連携し、春・秋に開催された「交通安全県民総ぐるみ運動」等に参加し、各種の交通安全広報啓発キャンペーンを実施した。また、YouTubeを活用し、オリジナル交通安全キャラクター「ピタッとぴーた」等を活用した交通安全啓発活動動画6編を新たに配信した。

③ 違法駐車等防止活動及び自転車の安全利用啓発活動に関する事業

道路が公共の施設として広く一般交通の用に供されることを確保し、安全で快適な生活環境の保持・向上に資するため、「仙台市違法駐車等の防止に関する条例」が定める違法駐車等防止重点地域内を巡回し、違法駐車等の防止に関する助言・啓発活動を実施した。

また、自転車利用者の交通ルール順守とマナー向上に資するため、「仙台市自転車安全利用に関する条例」に基づき、自転車通行禁止区間である都心部アーケード内を巡回し、自転車の安全利用に関する助言・啓発活動を実施した。

【違法駐車等防止活動実績】

区 分	活動回数	助言件数	移動件数	移動率
7年度	92	942	187	19.9%
6年度	92	1,071	236	22.0%
前年度比	100.0%	88.0%	79.2%	△2.1%

【自転車安全利用の助言・啓発活動実績】

区 分	活動回数	助言件数
7年度	272	152
6年度	273	188
前年度比	99.6%	80.9%

2 地域コミュニティ活動支援のその他公益目的事業の推進に資する事業

(定款第4条第1項第2号及び第3号の事業)

【収1】費用：183,165千円

地域にある多種多様な団体が安全・安心・快適に活動できるよう、地域・文化活動拠点施設等の維持管理及び運営を適切に行い、ホールや会議室等を利用に供した。その際に、公益目的の利用が見込まれない場合に限り、公益目的利用以外の施設の貸与等を行った。

3 勤労者の福祉の向上に資する事業 (定款第4条第1項第7号の事業)

【他1】費用：252,686千円

仙台市内の中小企業に勤める勤労者、事業主に対して、生活の安定と福祉の増進に寄与するため、勤労者福祉増進事業（グリーン・パル事業）を実施した。Web を利用した市内飲食店利用補助や、ご家族でお楽しみいただけるギフトカード・地場産品割引販売（福袋企画）など、新たな手法を用い、工夫しながら取り組んだ。

(事業所及び会員数)

区 分	令和7年度	令和6年度	前年度比
年度末事業所数	867	837	103.6%
年度末会員数	24,037	23,494	102.3%

(1) 在職中の生活安定に係る事業

会員やその家族の祝い事への各種祝金、見舞金などを給付するとともに、教育資金の融資や負担の少ない掛金での共済を紹介するなど、生活安定に係わる事業を実施した。

事業名	区 分	令和7年度	令和6年度	前年度比
共済事業	給付件数	5,990	6,044	99.1%
	給付額(千円)	107,692	97,146	110.9%
融資紹介事業	利用件数	5	2	250.0%
	保証料補給額(千円)	23.8	11.8	201.7%
グリーン・パル 生命共済事業	利用件数	10	5	200.0%

(2) 余暇活動に係る事業

レジャー施設、指定店、各種チケットの割引販売、委託保養所利用助成、会員生活応援のギフトカード・地場産品割引販売（福袋企画）などの主催事業を実施した。

事業名	区 分	令和7年度	令和6年度	前年度比
委託保養所 宿泊施設 紹介事業	利用者数	929	871	106.7%
	助成金額(千円)	1,856	1,766	105.1%
余暇活動 主催事業	開催数	44	46	95.7%
	参加者数	18,942	21,862	86.6%

(3) 健康維持増進に係る事業

人間ドック受診料、インフルエンザ予防接種費用などの一部助成、スポーツクラブ施設利用時の会員証提示による割引利用助成などを実施した。

事業名	区 分	令和7年度	令和6年度	前年度比
人間ドック等 利用助成事業	助成件数	273	252	108.3%
	助成金額(千円)	1,822	1,694	107.5%
健康維持増進 主催事業	開催数	1	1	100.0%
	参加者数	168	162	103.7%

(4) 自己啓発に係る事業

会員の技能習得、目的にあったスキルアップなど、各種スクール受講料、国家資格取得受験料への助成を実施した。

事業名	区 分	令和7年度	令和6年度	前年度比
自己啓発 主催事業	開催数	18	17	105.9%
	参加者数	427	491	87.0%
国家資格取得 等助成事業	利用者数	358	371	96.5%
	助成金額(千円)	1,769	1,837	96.3%

(5) 老後生活の安定・財産形成に係る事業

会員が将来に備えるための個人年金共済紹介事業を実施した。

事業名	区 分	令和7年度	令和6年度	前年度比
個人年金共済 紹介事業	利用件数	75	79	94.9%

(6) 情報提供事業

各種サービス内容や手続方法などが、分かりやすく利用しやすいように「グリーン・パルだより」や「ガイドブック」を発行した。さらに、ホームページやYouTube、SNS（LINE、Facebook、X）を活用して最新情報をいち早く提供するように努めた。

また、会員獲得に向けて、会員拡大支援員の導入による訪問営業や市広報紙・事業者説明会などでのPR、会員紹介キャンペーンなどの勧誘活動に取り組んだ。

(事業例)

- グリーン・パルだよりの発行 年8回
- ガイドブックの発行 年1回(4月)